

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和8年8月20日発行

No.159



(サルズベリ)

妻籠では、地区のあちこちにみられる花木です。「シビ」と呼ぶことがあるそうですが、唐の時代、中国の紫薇（しび）宮廷にたくさん植わっていたことから、そのように呼ばれるようになったといえます。遣唐使が日本にそのことを伝えたのでしょうか。

いずれにせよ、猛暑の中、きれいな花を咲かせる植物たちには頭がさがります。

小笠原 美雪

送電線鉄塔更新問題

理事長 藤原 義 則

前回の報告から大きくは進展していません。町と
の話の中では橋場集会所の西側の鉄塔（63-1）
から改修の意思を伝えたようです。町は住民の納得
（理解、同意）が得られなければ前に進められない
との意思を示しています。

【愛する会独自で収集したアンケートについて】

住民へのアンケート（表-1）では鉄塔の建て替
えについては（経年寿命等）理解をしています。ま
た周囲の景観に配慮し色彩等で対応していること
に納得していますが現状より大型化については反対
しています。

インバウンドの方々の感想は（表-2）重伝建妻
籠宿保存地区の景観について自然豊かで素晴らしい、
魅力的だ、自然と建物に一体感があり後世に残すべ
き景観だと評価しています。記入者はヨーロッパを
中心に37ヶ国からの評価であります。今後も重伝
建地区の迂回ルートを提案してこの素晴らしい景観
を保護する運動に傾注したいと思います。

関電鉄塔建替えについてのアンケート結果

表-1 妻籠地区住民

設 問	回答（件数）	比率（※1）
Q1 他の方策を望む	不同意・他の方策（29）	64.4%
Q2 現在の鉄塔について	同 意（30）	69.8%
Q3 建替え後の感想（想 定）	あまりにも巨大（37）	88.1%
Q4 景観を後世に引継ぐ ために	不同意（37）	86.0%
Q5 現景観を守るため愛 会は努力を	同 意（35）	81.4%

※1 比率：設問回答に対する比率（一般+地主）
収集時期 2026.4～5月

表-2 インバウンドの人々の妻籠（重伝建妻籠宿）の景観感想

設 問	回答（件数）	比率（※2）
Q1 妻籠宿と中山道の自 然景観	自然豊かで素晴らしい （483）	99.4%
Q2 サムライルートは世 界に自慢できるか？	自然豊かですべてが魅 力的 （484）	99.6%
Q3 自然と建物の景観を 後世に残すべきか？	そのように感じる （483）	99.0%
Q4 現在の景観がサムラ イルートにマッチし ているか？	現状の景観がベスト＆ 電柱なくせばなお良い （522）	100.0%
記入国 37ヶ国 ヨーロッパ 61% 北米 17% オセアニア 10% その他 12%		

※2 比率：設問回答に対する比率
収集時期 2026.6～7月
インバウンド対象 N=500
収集場所 一石板立場茶屋

このことは妻籠宿のみならず木曽地域や日本全体
の自然景観の保全、保護の重要性について連動して
いることでもあります。一度壊されると回復するまで
に膨大な時間と費用が掛かります。町・県・国へ訴
えていきます。

【妻籠宿鉄塔更新に係る現地協議】

町教育委員会の呼びかけによる現地協議会が開催
されました。

早稲田大学 佐々木教授、文化庁伝建部門 文化
財調査官2名、長野県建設部 都市町づくり課4名、
長野県県民文化部文化振興課1名、町産業観光課1
名、町教育委員会4名、妻籠を愛する会2名の15
名が参加して現地視察と現況状況の検討、情報共有
を行い今後対応の絞り込みを行うことを確認しまし
た。

特に長野県が現在 木曽谷・御嶽景観育成重点地
域景観計画について検討中でもあり、県においても
重大関心と景観保全について今後の対応の方向性を
重要視していることの表れと感じています。

木曽の自然景観は木曽地域の最大の宝であり、こ
れ以上改変すべきでない。景観を悪化させるのは電
波塔、送電線鉄塔（鉄塔・電柱）であります。これ
は一企業の問題だけでなく全国の日本の景観行政の
問題でもあります。



〈巨大化されたハゲテンジン北側の鉄塔〉



〈今回対象の橋場集会所上〉

(公財) 妻籠を愛する会新役員名簿

〈理事会（10名） 任期：2年〉

理事長：藤原義則

副理事長：新井新作

常務理事：横山純

理事：松田智、今井好紀、原信之、平田伊知郎、
亀山和美、宮下朋之、松下達也

〈評議員会（14名） 任期：4年〉

勝野雅士、中坊健吾、勝野晋一郎、藤原崇道、
石垣八十志、木村和恵、鈴木竜行、磯村琢弥、
小笠原美雪、袖川きよみ、加藤洋子、
鈴木義幸、加藤英幸、藤原修司

・監事：藤原啓喜、志水達也（任期：4年）

・参与：伊藤寿子、藤原昭次、山下航

【委員会構成】 ※◎委員長、○副委員長

〈総務委員会：7名〉

◎松田智、○今井好紀、
加藤洋子、中坊健吾、藤原崇道
加藤英幸、袖川きよみ

〈統制委員会：7名〉

◎宮下朋之、○石垣八十志、
新井新作、磯村琢弥、勝野晋一郎、
横山純、下枝その子

〈文化広報委員会：6名〉

◎原信之、○松下達也
木村和恵、小笠原美雪、勝野雅士、
鈴木義幸

〈環境保全委員会：12名〉

◎平田伊知郎、○郷原二三男
藤原和年、亀山和美、藤原啓喜、鈴木竜行、
藤原修司、原 修己、伊藤龍太、窪美 靖、
熊谷純一、原 拓也

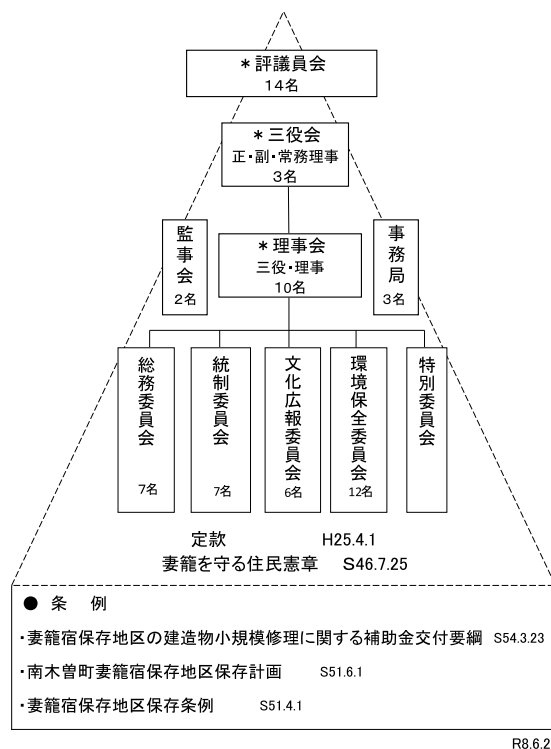
(公財) 妻籠を愛する会は、本年5月の定時評議員会において理事の改選が行われ上記10名が選任されました。なお、評議員・監事は任期が4年のためもう2年あります。

特別委員会は、現在2つ設置されています。令和5年6月に立ち上げられた空き家対策特別委員会は現在も継続中です。11名で構成されています。

年に数回会議を招集し、空き家利活用について検討、情報交換などを行っています。

関西電力送配電(株)より妻籠地区の送電線鉄塔の更新の申し出を受け、この4月に「関電鉄塔対策特別委員会」を立ち上げました。委員は理事会の構成員が兼任しています。

(公益財団法人) 妻籠を愛する会機能組織図



【一石栃立場茶屋周辺整備作業】

酷暑と呼ばれるこの夏も、多くのハイカーが馬籠峠を歩きます。彼らが気持ちよく歩けるように一石栃立場茶屋の管理人たちが汗をかきかき周辺の環境整備に勤めました。7月16日、まだ梅雨は開けていませんでしたがやはり猛暑の中となりました。



静岡県 村谷 行 信

小生マラソンを始めて36年、飛脚の同じコスプレで、16年が経ち、一年で一番楽しい大会に参加完走できました。

全国にマラソン大会はたくさん有るけれど、自分のコスプレと400年来の町並みが、マッチして、実に『絵になる』なあと、自画自賛しております。昔の飛脚の人は、道はでこぼこ、雨風のなか、又、熊の恐怖の中、この中山道をどんな思いをして走っていたのか？思いを巡らせております。

仮装賞のソバ、着順毎のとび賞、参加賞以外に沢山の景品を頂き、ありがとうございました。ゴール直後の「ガリガリ君」は、特に良かったです。

大会後、コスプレのまま、食堂でそばを食べて、妻籠宿を散策していたら、見知らぬ外国人と写真を撮り合い、交流する事が出来ました。

2023年大会では、大会後コスプレのまま、馬籠宿まで、トレーニングの為、往復ランしていたら、NHK『ドキュメント72時間』の収録中で、妻籠マラソンの事も、たくさん喋ったのに、3秒しか放映されなかったのを、覚えております。

役員の皆様、ボランティアの皆様、ありがとうございました。又、来年も参加したいと思います。



〈準備体操は大事です〉



〈さあ、スタートだ！〉



〈寺下を駆ける村谷さん〉



〈力強く選手宣誓！〉



〈大人も、子どもも〉

愛知県 小林 伸二・佳奈

愛知県から夫婦で参加させていただきました。

出場するからには、日ごろの練習成果を発揮したく、入賞を目指して走りました。結果、夫婦そろって入賞することができました。

坂を一生懸命に駆け上がるのは辛いですが、妻籠宿では飛脚になった気分で走れ、観光客やお店の方々、ボランティアの皆様の応援をいただき、気持ちよく走ることができました。ゴール後にガリガリ君、完走賞をいただき、「走ってよかった!」と喜びました。

妻籠健康マラソンのそんな温かいおもてなしと、地域の皆様の手作りの大会を肌で感じることができました。

大会後も、南木曽の五平餅、おやきを宿の軒下の長椅子に腰を下ろしていただきました。石畳も新緑も目に映え、マイナスイオンをいっぱい吸い、心も身体も健康な一日を過ごすことができました。

〈夫婦仲良く入賞しました!〉



〈中町：陣屋太鼓も応援します〉



〈親子で楽しむ〉



〈仮装大賞勢ぞろい〉



1.9km～10kmの四つのコースに735名がエントリーし、妻籠宿を駆け抜けました。

木曽風景街道推進協議会総会

令和8年度木曽風景街道推進協議会の総会が木祖村で開催されました。

10時から木祖村民センターで総会が行われ、前年度の事業報告と今年度の事業計画について審議されました。総会には22名の出席がありました。

昼食をとりながらの交流会には17名が参加しました。愛会からは正副理事長が出席しました。

午後はお六櫛の実演が行われました。その後「上下流交流事業と観光について」と題した講演会がありました、講師は（一社）木祖村観光協会の圃中専務理事でした。



真夏の妻籠城址環境整備作業

今年も（株）名工土木の皆様による妻籠城址の整備作業が梅雨明け直後の7月21日に行われました。「名工土木安全の日」に合わせて毎年ボランティアで行われています。

今年も猛暑の中一生懸命作業していただきました。ありがとうございました！



宿 場 暦

5月

- 11日: 令和8年度木曽地域文化遺産活性化協議会
総会(王滝村・理事長)
- 12日: 三役会、理事会、妻籠宿有料駐車場の料金改定
に係る検討会議(理事長・常務)、関電来宿:
鉄塔建替説明(愛会三役、教委3名、町1名)
- 18日: 妻籠地区地域振興協議会総会(理事長)
- 20日: 統制委員会、広報158号発行、妻籠宿案内人の
会総会・学習会、南木曽町リニア中央新幹線
対策協議会(理事長)、撮影許可審議委員会
- 22日: 撮影許可審議委員会、関電鉄塔対策打ち合わ
せ(教委2名・愛会2名)
- 24日: JR東海撮影
- 26日: 日本ナショナルトラスト協会理事会(理事長)、
令和8年度第1回南木曽町観光振興推進委員
会(常務)
- 28日: 令和8年度地域づくりネットワーク木曽支部
総会(合庁・理事長)
- 29日: 評議員会
- 30日: 國學院大學観光まちづくり学部研究会
(理事長)

6月

- 2日: 理事会、関電鉄塔対策特別委員会
- 6日: 松川会館撮影
- 7日: 第44回南木曽町・妻籠健康マラソン大会、
全国町並み保存連盟総会(静岡市・理事長)
- 8日: 観協五月人形片付け(常務)
- 10日: 三役会、関電来宿・鉄塔建替え説明(愛会三役、
教委3名、町1名、関電3名)
- 11日: 日本ナショナルトラスト協会総会(理事長)
- 16日: 評議員会
- 17日: 空き家対策特別委員会
- 18日: 妻籠宿保存地区保存審議会
- 19日: 木曽地域観光ガイド代表者会議
(案内人の会: 2名)
- 22日: 統制委員会
- 23日: 木曽風景街道役員会(理事長)、エキスポ・
ジャパン撮影
- 27日: 令和8年度第1回観光地点パラメータ調査
- 29日: 広報部会

7月

- 1日: 三役会、光徳寺横急傾斜地工事打合せ
(県・町・愛会)
- 7日: 撮影許可審議委員会
- 9日: 信越放送撮影
- 13日: 総務委員会、三役会、妻籠宿案内人の会役員会
・学習会
- 14日: 木曽風景街道推進協議会総会(木祖村)
- 15日: 鉄塔事前調査
- 16日: 一石柵草刈り作業(5名)
- 21日: 統制委員会、名工土木城山整備作業
- 22日: 木曽地域文化遺産活性化協議会事前ミーティ
ング(合庁・理事長)
- 23日: 和智埜神社祭礼(〜24日)
- 27日: 撮影許可審議委員会、広報部会

景観保持のため、宿場内での路上駐車は
やめましょう!

- 28日: 立教大学院生対応(理事長)
- 29日: 鉄塔更新に係る現地協議
(文化庁・県・町・愛会2名)、
妻籠観光協会七夕作業
- 30日: 工学院大学初田研究室(理事長)
- 31日: 外来種駆除作業(木曽風景街道推進協議会:
上松町・理事長)

統制委員会審議事項

5月20日

- ・引込線撤去工事 (大妻籠: 中電) 1件
- ・外塀修繕 (上町: 個人) 1件
- ・電話柱の新設及び撤去 (尾又: TOSYS) 1件
- ・群状択伐 (妻籠地区: 関電) 7件
- ・令和7年度県単治山事業第3号工事(変更)
(大妻籠: 振興局) 1件
- ・窓の設置 (大妻籠: 個人) 1件

[その他]

- ・名城大学デイハイクに伴う妻籠宿内建物破損の復旧
1件

6月20日

- ・配電線設備の保安伐採(期間再延長)
(吾妻橋: 中電) 1件
- ・引込線張替 (第2駐車場内: 中電) 1件
- ・支障木伐採 (吾妻橋上: 関電) 1件
- ・建具交換 (恋野: 個人) 1件
- ・樹木伐採 (尾又軽便道: 松山建設) 1件
- [その他]
- ・報告: 大妻籠交流施設個人へ無償譲渡
(保存物件のため今後個人で管理)

7月22日

- ・店舗改築 (中町: 個人) 1件
- ・住居改築 (下町: 個人) 2件
- ・住居改築 (上町: 個人) 2件
- ・道路法面の立木伐採及び枝払い
(城山下256線沿い: 建設業協会) 1件
- ・群状択伐 (吾妻橋上・川向: 関電) 2件
- ・トイレ、浴室の増改築工事 (恋野: 個人) 1件
- ・引込線張替 (下町: 中電) 1件
- ・雨樋の取替 (恋野: 個人) 1件
- ・電話柱・支線の新設・撤去及び架空ケーブル移設
(橋場: 株TOSYS) 1件
- ・令和8年度予防治山事業3号工事(災害復旧)
(下り谷: 木曽地域振興局) 1件

【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事
前に統制委員会への届出が必要となります。申請
用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教
育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

発行: 公益財団法人妻籠を愛する会
〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
TEL: 0264-57-3513 (FAX兼用)

下町 磯村 琢 弥

今回は大平街道の跡を探しにいきました。まずは吾妻橋にある石柱道標へ向かいます。何度も前を通っているのですが、一度もじっくりと見たことがありません。本来は道の分岐点にあったはずなのですが、道路工事の度に移動しているようです。裏には飯田までの距離が、左側面には工事期間が刻まれている。この石柱は飯田までに4つあるそうですが、大平宿に行く途中のトンネル辺りにあるのが二本目でしょうね。



《大平街道石柱裏》

さてここから妻籠方面に256号線を歩いて行くと、馬車での輸送の名残りでしょうか、馬頭観音があります。さらに歩いて下町に向かう途中、保育園跡から水路を二本渡るのですが、橋の下に石積が立派なのです。これも明治の大平街道の工事の一部なのかを知りたいです。



《馬頭観音（吾妻輸送組合）》



《飯金屋さん前》

また下町の道路工事の時に道路下に石垣が見えましたが、妻籠宿の道路下には大平街道が当時の姿のまま埋まっている所もあるかもしれません。妻籠宿内の左右の水路は、中山道を大平街道の一部とする際に整備されたものです。そのため、博物館内の壁にある江戸時代の絵図には描かれていません。水路で道を区切ったため、中山道の余った部分を安く譲り受けた家や、逆に道のために土地を売った家があったそうです。これから先、宿場内の道路舗装をする時に、下から昔の道の痕跡が出てきたら見に行こうと思っています。



《大平街道？》

その他に今回ふと気づいたことがあります。島崎藤村の『ふるさと』の中に妻籠宿から歩いた、蘭川、吾妻橋、木曾川の話が書かれていますが、藤村が9歳で東京へ向かう明治14年の話なので吾妻橋はまだないはず。明治25年に賤母新道が開通して吾妻橋ができているのなら、記憶違いということではないでしょうか。ただし、吾妻村自体は存在していたので、村の入口に村の名で呼ばれる簡素な橋があったとも考えられますが、下町から蘭川、木曾川に沿って渡島まで行ける道が存在したかは不明です。



《この小さな道標は何本存在するのか？》

次回も大平街道の跡を探しにいけます。